



議会だより

発行 片品村議会

No. 138

2013. 11. 20

かたしな



敬老会における区別の記念撮影の様子（10月2日、片品村文化センター）

主な内容

平成24年度一般会計・特別会計決算認定、平成25年度一般会計・特別会計補正予算… 2～3

条例改正・物件売買、工事請負契約・陳情審議…………… 4～5

一般質問（2名）で村政を問う、各委員会審査…………… 6～9

管内視察、檜枝岐村議会との交流、村民の声、議会活動 … 10～12

平成24年度一般会計決算

歳入決算額	39億 234万円
歳出決算額	36億2,393万円
繰越明許費繰越額	4,498万円

実質収支額 2億3,343万円

↓

基金へ繰入	1億5,000万円
平成25年度予算へ繰越	8,343万円

年度末村債（借入金）現在高 29億6,220万円
 （前年度比 3億3,570万円増）
 年度末基金（預金）残高 19億5,492万円
 （前年度比 1億8,745万円増）

平成25年第8回定例会が、9月5日～13日までの9日間にわたり開催。
 「平成24年度一般会計及び特別会計の決算認定」、「平成25年度一般会計及び5特別会計の補正予算」、「条例の一部改正」「小学校の統合について」、「片品村振興公社の経営状況の報告」、「物件売買契約の締結」、「片品村固定資産評価審査委員会委員の選任」等が提案され、いずれも原案どおり可決しました。

平成24年度特別会計決算

会計名	歳入決算額（一般会計から繰入）	歳出決算額	翌年度繰越額	翌年度繰越の内訳	
				基金繰入額	H25年度予算へ
国民健康保険	8億6,067万円(1億409万円)	8億329万円	5,738万円	3,000万円	2,738万円
簡易水道事業	9,389万円(887万円)	8,377万円	1,012万円	0	1,012万円
介護保険	4億7,088万円(6,979万円)	4億5,679万円	1,409万円	0	1,049万円
下水道事業等	1億895万円(8,554万円)	1億589万円	306万円	0	306万円
後期高齢者医療	5,413万円(2,288万円)	5,346万円	67万円	0	67万円
合計	15億8,852万円(2億9,117万円)	15億320万円	8,532万円	3,000万円	5,532万円

観光施設事業	収入（一般会計からの補助金）	支出	利益
収益的収入・支出	1億1,571万円(9,413万円)	1億1,435万円	136万円
資本的収入・支出	2,000万円(2,000万円)	7,430万円	0

* 収益的収入・支出については、税抜きの金額です。
 * 資本的収入・支出は、他会計借入金、企業債の償還及び建設改良に伴うもので、支出の不足分5,430万円は、留保資金で補てんしました。
 なお、企業債は完済です。他会計借入金残は、3億2,500万円です。

借入金・預金の現在高

	年度末村債他（借入金）現在高	年度末基金（預金）現在高
国民健康保険	0	8,349万円
簡易水道事業	2億1,441万円	2,790万円
介護保険	0	386万円
下水道事業等	4億6,838万円	0
合計	6億8,279万円	1億1,525万円

	年度末借入金現在高	留保資産
観光施設事業	3億2,500万円	8,131万円

ワンポイント解説

留保資金
 現金の支出を必要としない経費で、具体的には減価償却費などが留保された資金です。

監査委員の審査意見

- 平成24年度の村債は4億40万円です。
主に消防施設整備、戸倉・富士見下線整備、除雪機械購入、クロカンコース整備、塗川橋詳細設計、防災計画策定、福祉医療費支給等のソフト事業に充当されている。
- 村税の収納率は68.7%で前年度より2.7ポイント減、収入未済額は2億6,825万円と前年度より2,429万円増額で、固定資産税の増が主なものである。
- 地方交付税は20億6,781万円で、前年度より1億4,401万円増加となり、歳入総額の53%と大半を占めている。
- 国民健康保険税の収納率は80.2%、一人あたりの診察費は20万8,621円(年間)で、前年度より8,383円増えている。
被保険者の高齢化等による医療費の増大や収納率の低下など非常に厳しい運営が予想される。
- 水道料の収納率は66.2%、一人あたりの1日平均給水量は、378ℓ、堅実な運営を図るために未収金の解消に努力されたい。
- 下水道への加入率は53.6%と依然と低く、適切な対応を望む。
- 急速に高齢化が進む中、要介護・要支援の認定は年々増加傾向にある。
本会計の安定化を図り、介護サービスの充実に努力して欲しい。

片品村振興公社(株)の経営状況の報告

公社の総売上 2億9,850万円
村としての益金 619万円
公社税引後当期利益額 32万円

事業概要

●花の駅・片品「花咲の湯」

入込客数 142,910人
(村外利用者 118,781人)
売上金額 1億9,265万円
仕入代金 6,948万円
販売管理費及び公社手数料 1億1,525万円
益金 792万円

●寄居山温泉

入込客数 38,117人(村外 39.5%)
売上金額 2,144万円
仕入代金 196万円
販売管理費及び公社手数料 1,708万円
益金 240万円

●旅行部

年間入込客数 4,708人(延 11,059人)
売上金額 6,094万円
仕入代金 4,343万円
販売管理費及び公社手数料 2,413万円
益金 △662万円(村委託金対応)

●かたしなや

売上金額 2,347万円
仕入代金 1,115万円
販売管理費及び公社手数料 1,645万円
益金 △413万円(公社売上金対応)

財政の健全化判断比率の報告

(単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
H24年度	-(赤字0)	-(赤字0)	7.6	-
早期健全化基準	15	20	25	350

実質公債費比率

ワンポイント
解説
村の税金等、毎年決まって入るお金に対して、借金返済額がどの程度の割合になるかを示す指標です。
*数値は小さいほどより健全です。

片品村の公営企業の資金不足比率

(単位：%)

特別会計の名称	資金不足比率	備考
観光施設事業特別会計	-	資金不足なし
簡易水道事業特別会計	-	資金不足なし
下水道事業等特別会計	-	資金不足なし

ワンポイント
解説

資金不足比率

資金不足による経営状況の悪化の度合いを示す指標です。
*資金不足が無い場合は「-」表示
20%以上は経営健全化計画を定めなければならない。

平成25年度9月補正

(単位：千円)

会計名	歳入歳出補正前	補正額	補正後
一般会計	4,059,500	179,534	4,239,034
国民健康保険	864,265	22,382	886,647
簡易水道	77,000	9,116	86,116
介護保険	463,838	12,089	475,927
下水道事業等	105,768	▲2,338	103,430
後期高齢者医療	54,031	173	54,204

主な一般会計補正

歳入

- ・地方交付税 111,245千円
- ・国庫支出金 2,350千円
- ・県支出金 13,711千円
- ・前年度繰越金 33,431千円
- ・諸収入 19,720千円

歳出

- ・国体準備費
- ・農林水産費
- ・土木費等

条例の制定・一部改正等

◎片品村立小学校の統合について

平成26年度より片品村立片品北小学校を、平成28年度より同片品南小学校及び武尊根小学校をそれぞれ廃止し、同片品小学校に統合【全員賛成】

◎片品村税条例の一部改正

地方税法の一部改正に基づき村条件の一部を改正（延滞金の引き下げ等）【全員賛成】

◎片品村過疎対策のための村税（固定資産税）の課税の特例に関する条例の一部改正

地方税法の一部改正に基づき、村条件の一部を改正（執行期限の五

年間延長）

【全員賛成】

◎片品村立小学校設置条例の一部改正

小学校統合に向けて、統合方法、学校の所在、統合の時期を定める

- *平成26年4月1日より、片品村立片品小学校の所在地を片品村大字鎌田3952番地から片品村大字土出1957番地に改め、片品村立片品北小学校を削る。
- *平成28年4月1日より、片品村立片品小学校の所在地を片品村大字土出1957番地から片品村大字鎌田3952番地に改め、片品村立南小学校、片品村立武尊根小学校を削る。

【全員賛成】



「建て替えられる片品小学校校舎」

◎片品村国民健康保険税の一部改正

片品村税条例の一部改正と同様の内容【全員賛成】

◎片品村介護保険条例の一部改正

片品村税条例の一部改正と同様の内容【全員賛成】

◎片品村後期高齢者医療に関する条例の一部改正

片品村税条例の一部改正と同様の内容【全員賛成】

◎利根沼田広域市町村圏振興整備組合の規約変更

障害者生活支援に関する法律改正に伴う規約変更【全員賛成】

工事請負契約の締結

村道塗川・幡谷線 塗川橋架替工事(下部工)

78,750,000円

角田建設工業株式会社 【全員賛成】

物件売買契約の締結

①クロスカントリー競技コース整備用圧雪車購入
31,500,000円

日本ケーブル株式会社 【全員賛成】

②アルペン競技計測機器・システム購入
7,749,000円

(株)ビー・エス・シー 【全員賛成】

クロスカントリーコース整備用
圧雪車



千明貞夫氏(摺淵)
選任を同意
【全員賛成】

○片品村固定資産評価
審査委員会委員の
選任

陳情審議結果一覧表

9月定例会において審議された陳情は、下記のとおり決定しました。

受理年月日	件名	陳情者	付託委員会	審議結果
平成25年 8月12日	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情について	全国森林環境税創設促進 議員連盟会長 板垣 一徳 (新潟県村上市議会議員)	観光産業常任委員会	採択
平成25年 8月22日	道州制導入に反対する意見書について	群馬県町村議会議長会 会長 高橋 正	総務文教常任委員会	採択

意見書の提出

①衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、環境大臣、経済産業大臣に『石油・石炭税の税率の特例』による税収の一定割合を、森林面積に応じて与する仕組みの構築を強く求める意見書を提出しました。

②衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣法第九条の第一順位指定大臣(副総理)、内閣官房長官、総務大臣、内閣府特命担当大臣(地方分権改革)道州制担当に『道州制導入に反対する意見書』を提出しました。

都市との交流を進めることにより、客観的評価、指摘による地域の魅力の再発見・再認識、地域産業の継承や経済の活性化、教育の質の向上、都市との共生による自立促進、姉妹都市、災害時の相互援助活動等の関係づくりなど、地域の活性化に結びつくとして、特別委員会設置が採択された。

【全員賛成】

○都市との交流を進める特別委員会設置



都市との交流を進める特別委員会

特別委員会

委員長 星野 育雄
副委員長 千明 道太
他・全議員が委員

で村政を問う!



星野 育雄議員

「金精峠の年間開通実現について」

問 冬季間の片品村は、金精峠が閉鎖されるため、交通アクセスが悪くなっています。

観光地は広域的に道路網でつながっていることが効果的です。金精峠の年間開通の実現についてどう行動しているか。

答 (村長)

金精峠の年間開通の実現は、椎坂トンネル同様、片品村民の長年の念願です。県に要望を続けてきましたが、県境にあるため、隣接する日光市の同意が不可欠であります。しかし長年にわたり同意を得られませんでした。そこで、日光市長を表

Q 年間開通実現への今後は？
A 様々な組織、団体の協力を得て早く年間開通が実現できるようにする

Q 年間開通実現に、どう行動しているか？
A 絶好のチャンスは今、日光市との連携、群馬・栃木両県や国への働きかけを強めてます

敬訪問し、以来お互いの信頼の絆を深めてきました。片品村議会も日光市議会との交流を重ねてきました。

その結果、本年4月10日、私が日光市役所に齋藤市長を訪ね、ついに金精峠の年間開通で合意をいただくことができました。7年余りの歳月を経て、年間開通に向けて固い握手をすることができました。

4月17日には栃木県庁を訪れて、福田知事に日光市長と片品村長とで金精峠の年間開通の要望書を提出させていただきました。4月23日には群馬県庁に齋藤市長に同席していただき、茂原群馬県副知事に要望書を提出しました。

また5月21日、国土交通省と財務省に金精峠の年間開通の要望書を提出しました。その際には、日光市長と片品村長連名の要望書に加えて、日本ロマンチック街道構成自治体にも協力をお願いして、婦恋村長の熊川会長をはじめ、10名余りの市町村長に協力をさせていただきました。連名で要望書を同日提出いたしました。

問 今後の方針をお聞かせ下さい。

答 (村長)
日光市長と片品村長の合意は、長年の懸案を大きく前進させることができました。

栃木県知事、群馬県知事ともに大変前向きな考えを聞かせていただいています。今こそ絶好のチャンスと捉え、群馬県や国に対して要望活動に一層努めてまいります。具体的には日本ロマンチック街道構成市町村の協力に加え、県内23町村で組織する群馬県町村会との協力を取り付けてあります。平成26年度県予算編成に向けて、10月に行う群馬県町村会からの要望項目の中で、県土整備部へ次の内容で要望していただくことが決定しています。



冬季通行閉鎖を解除されて日光から菅沼ドライブイン前に到着した車を歓迎する片品村側の関係者たち (4月25日)

金精トンネル (仮称) の建設について (群馬県の町村会からの要望)

片品村と栃木県日光市を結ぶ日本ロマンチック街道の一部である国道120号の金精峠については、積雪のため冬季閉鎖されています。年間開通すれば、広域的観光ルートとしての経済効果が期待でき、さらに、トンネルの建設により両県に相当の経済効果がもたらされるので、金精トンネル (仮称) の調査研究を国に働きかけていただきたい。

また、現在椎坂トンネル完成に向けて取り組んできた国道120号線整備改良促進期成同盟会も、椎坂トンネル完成後は引き続き金精峠の年間開通を求める期成同盟会として協力をいただく考えであります。

今後とも、さまざまな組織、団体の協力を得て早く年間開通が実現できるように鋭意努力します。

一般質問(2人)



戸丸 廣安議員

【緊急時に備える村の財政調整基金について】

問 村の財政調整基金は平成17年3月末に約3億でしたが、平成25年3月末では約19億となりました。どうやって財政の立て直しを図りましたか？

答 (村長)

厳しい社会状況の中で、職員と丸となつて無駄を省く行財政改革を進めてきました。

問 これは行財政改革の結果(成果)と言えますか？

Q 19億の財政調整基金へと立て直せた背景は？
A 役場職員が一丸となつての無駄を省く努力の結果である

答 (村長)

議会の皆様を初め、村民皆様のご協力があつてできたものと心から感謝申し上げます。

問 今後その基金をどのように活用されますか？

答 (村長)

小学校の建設、中学校の耐震化と大規模改修、全国中学交スキー大会、翌年の冬季国体や、塗川橋をはじめ、道路や橋の整備を計画的に進めます。2歳児以上の保育料の無料化や2人目以上の学校



完成したエレベーター

給食費の無料化、高齢者の方々のための庁舎内エレベーター設置など、今後も山積する課題に対して、必要なところに有効的に使つてまいります。

【自治体間の交流について】

問 防災協定を初めとして、他自治体との交流を進めています。現状はどのようなようになっていきますか？

答 (村長)

災害時の応援協定は、蕨市、上尾市、日光市と今年8月より南相馬市と協定を結んでおります。蕨市とは、平成8年から「ふれあい協定」を結んでいます。

問 政府の変動人口予測で、片品村の人口は2040年に2,599人になると推計されています。川場村のようなレベルで都市との自治体間交流を進める考えはありますか？

答 (村長)

現在おつき合いをしている市や町との交流をさらに深め、持続することを大切に、今後とも続けていきたいと考えています。

問 議会は自治体間交流支援のための特別委員会を立ち上げますが、村長も強力なリーダーシップをとってほしいものです。

答 (村長)

よい案が頂ければ積極的に取り組んでいきたいと思っております。

【子宮頸がんワクチンについて】

問 接種の実情、実績、反応(副作用)はいかがでしょうか？

答 (村長)

厚生労働省から「国民に適切な情報提供ができるまでの間、市町村長は定期接種を積極的に推奨すべきでない」との通知がありました。村の予防

接種前でしたので関係機関と協議し、国の方針が明確になるまで定期接種は休止しました。

問 政府は集団接種を取りやめ、自己の選択に委ねた格好ですが、村はどうするのですか？

答 (村長)

希望者には、有効性と副反応について十分説明したうえで個別接種の機会を確保します。



上尾市の自主防災組織の研修会(片品村役場)

Q 議会は、自治体間交流推進の特別委員会を設置するので、リーダーシップを

A 良い案が出てくれば、村として積極的に取り組んでゆく

審査しました

各委員会を開催

総務文教常任委員会



急ピッチで進む武尊牧場の
クロカンコース

協議事項

一、陳情

道州制導入に反対する意見書

意見 絶対に賛成すべき内容とし、委員全員賛成により本会議に提出。

二、平成24年度決算について

問 村税の滞納処理は

答 (住民課長)

専任1名、臨時1名の2名で、専門に滞納処理に当たっている。今後も鋭意努力します。

三、平成25年度補正予算について

問 子宮頸がん予防接種の現状は

答 (保健福祉課長)

対象者は16名で、今現在の接種の申請はゼロです。

これから、接種を希望する生徒には、医師から説明を受けた上で、補助をして接種をしてもらう。

問 北小学校の来年の3月での閉校に伴う、6区、7区、学校の共催での記念式典に、村からの援助をお願いしたい

答 (教育長)

今後、武尊根小、南小もありますので、なるべく期待に応えられるようにしたい。

問 小学校の建設工事の入札について、多くの自治体では、分離発注をしているようですが、どのように考えているか

答 (教育長)

今は、実施設計を行っている段階で、発注方法は決まっています。村長部局と協議し、工事の入札関係の形態については決定します。

問 完成後のメンテナンスと、村の企業を育てることを考えると、ゼネコンとJV(ジョイントベンチャー)を組んで、村の業者を入れないところは、入札に参加できないか

答 (教育長)

小学校は、これから数年間使うものですから、校舎建設にふさわしい業者を選ぶよう村長部局にお願いしたい。

問 片小と北小の統合に向けた児童間の交流についてどのような形を考えているのか

答 (教育長)

授業の交流については難しいですが、体育や総合の時間での交流を9月から始めるようにします。武尊根小・南小についても統合後の片小と同様にやっています。

問 インターハイの開催要請については

答 (教育長)

県の高体連の会長から、口頭要請がありました。
問 武尊牧場の施設の名称は

答 (教育長)

「尾瀬ほかか高原スポーツパーククロスカントリーコース」に決定しました。

問 コース内容は

答 (教育長)

一周5キロで、中でシ

ョートカットして2、3キロも可能なコースになります。10月末に完成予定です。

四、その他

問 都市との交流を村としてどのように考えているのか

答 (村長)

交流相手が見つつかれば、積極的に取り組みたい。最近では、南相馬市と防災協定を結んでいます。
問 都市とのさらなる防災協定の可能性は

答 (村長)

議員方より良い地方自治体を教えて欲しい。

問 真田街道の東にある片品村のPRは

答 (村長)

大河ドラマに出ると、すぐお客さんが来ると思っています。

問 白根山の噴火に関するハザードマップは

答 (総務課長)

群馬県を中心に沼田市・片品村・日光市なので対策委員会の組織をつくる予定。年に1回勉強会をしています。

(委員長 千明道太)

委員が慎重に

9月議会中の9月9日に

観光産業常任委員会

協議事項

一、陳情

地球温暖化に関する地方財源を確保、充実する仕組みの構築を求める意見書

意見 石炭石油税の税収を森林面積に応じて譲与する仕組みをつくることは村益につながる。

【全員賛成】

二、平成24年度決算について

問 下水道の加入率は約54%とまだ低いがどう打開、推進するべきか

答 (農林建設課長)

戸別に加入促進を図っており、昨年からは住宅改修には補助をしています。

問 椎坂トンネル開通にどのように対処していくのか

答 (むらづくり観光課長)

関東圏を中心としたラジオでの宣伝、「椎坂トンネル」という名称統一の呼びかけ、宿泊施設のパンプレットの作成、サイブスエリアでのイベントなどを企画しています。

三、平成25年度補正予算について

問 トンネル開通に向けた補正対応は

答 (むらづくり観光課長)

観光協会に231万円、広告宣伝費に120万円、椎坂トンネル開通を集客



開通間近に撮影した椎坂トンネル(利根町の出入口)



鳥獣害防止対策としてのシカ除けフェンス

増のきっかけにするために使いたい。

四、その他

問 有害鳥獣防護柵の維持・管理を今後どうして行くか

答 (農林建設課長)

基本的に設置は村、維持管理は地区としてきたが、すでに協議会のある利根町を参考にして対処したい。

問 観光立村としてトンネル開通をきっかけにさらに景観美化を進めるべきか

答 (むらづくり観光課長)

景観審議会委員たちと検討していきたい。

問 主要道路の除草や大型車の通行の妨げになる木の撤去をすべきだ

答 (農林建設課長)

県道は引き続き土木事務所を通じて、お願いしていきたい。

問 武尊山の登山道の整備をしてほしい

答 (むらづくり観光課長)

県立公園ではないので村で予算を組み対処したい。

(委員長 今井 功)

総務文教常任委員会 管内視察

＊平成25年7月11日

■片品北小学校

小学校統合へのステップとして、北小は特別教室を整備し、受け入れ体制を整えた。音楽室は雨漏りがあり、早急な修理が望ましい。体育館の天井固定のバスケットボールのゴール板が正常に作動していなかった。移動式ゴール板などへの対応が急がれる。

床はワックスがはがれていて滑りやすく、競技のライン修理が必要。プールに入る階段が狭いので幅広のものが望ましい。

■片品中学校

・「雨樋、縦樋」この夏、二階縦樋が一部外れて教室に雨漏りが起こったので修理した。

・「屋根」塗装が落ち、錆びが出て、一部穴が開き、雨漏りした。今年、職員がコーキング修理

をした。図書室の校長室側でも雨漏りがあった。

・「漏水」水道管は鉄管、土の中に配管してある部分が腐食して時々漏水がある。今年、二箇所修理した。

・「暖房の配管」上水道と同じく鉄管のため、使用時に蒸気の漏水がある。

昨年、五箇所修理した。

・「プール」今年、使用前に一箇所漏水の修理をした。

・「防火扉」数年前より作動しない状況にある。

■武尊牧場スキー場 クロスカントリーコース

10月に完成する。グリーンシーズンに向けたPRが期待される。(委員長 千明道太)



修復が期待されている片中学校舎

観光産業常任委員会 管内視察

＊平成25年7月11日

■塗川橋と三松橋

両橋を視察した。川下から見上げる三松橋は、老朽化が著しく整備の緊急性を感じた。村管理の橋は70橋あるが、定期的に点検・整備を行う「予防行政」をこれまで以上に行う必要性がある。

■岩鞍スキー場内村道7号線工事

工事の進捗率は約60%。11月末に完成予定。

■農協集荷センター

築地の集荷センター



視察をした塗川橋

では、価格動向などの説明を受けた。各作物が前年度を上回るということで活気があった。

村の基幹産業である農業を行政がしっかりと支えていく必要性を実感した。

総務文教常任委員会との合同視察は、村の抱える課題を共有し認識を深めるために意義があった。村民益増進のため、今後の村の施策にしっかりと生かしていきたい。(委員長 今井 功)

檜枝岐村議会との交流会

期日 平成25年9月24日 (火)～25日(水)

場所 新潟県新潟市

目的

①国道401号改良整備促進について

②今後の尾瀬と両村の観光について

結果

両議会は、国道401号改良整備促進については、引き続き未供用区間24kmの路線の早期選定を国に要望し、未供用区間の早期解消に向けて更に両村の交流を推進するとともに、両村の観光産業の活性化を図るため、広域観光の視点から様々な企画を研究する必要が有ることなどを確認しました。



檜枝岐村議会との交流会

村民の声（第8回片品村議会定例会を傍聴して）



星野昌也さん（鎌田）

私は9月5日、9月議会初日の傍聴をさせていただきました。今回傍聴して思いましたのは、平成19年の議会傍聴の時もそうでしたが、全村民に公平に村の対応が行き届くよう、熱心な議論が議会でなされていることがはっきりと伝わってきたことです。

また一般質問の中で、金精峠の年間開通に向けての大幅な進展があったこと、自治体との交流が数箇所あり、本年度も一つ協定が結ばれたことなどを知りました。これらのことは、常日ごろから村長さんや議会の皆さんが村民のために頑張っているからこそであり、その大きな果実であると思います。これからも片品村の明るい将来のため、村長さんや議会の皆さんが一丸となってさらに建設的な議論を交わして頂きたいと思っております。

議会活動日誌

8月

- 7日 給食センター、観光施設、上下水道、国保、介護の各委員会
- 23日 議会運営委員会、議会全員協議会
- 28日 南相馬市との防災協定調印式
- 30日～31日 名水サミットin七尾（石川県）

9月

- 5日 第8回議会定例会（9月議会）開会
- 5日～6日 決算・補正予算説明会
- 7日 村内各小学校運動会
- 9日 総務文教・観光産業常任委員会
- 11日 総務文教・観光産業常任委員会の管内視察
- 13日 片品中学校体育祭
第8回議会定例会（9月議会）閉会

- 24日～25日 檜枝岐村議会との交流会
- 27日 北保育所運動会
- 28日 片品保育所・南保育所運動会
- 30日 第70回国体片品村実行委員会設立総会

10月

- 2日 片品村敬老会
- 5日 第55回村民運動会
- 12日 消防団秋季点検
- 24日 群馬県町村議員研修会
- 27日 片品村長選挙

11月

- 2日～3日 片品村総合産業文化展
- 3日 尾瀬文学賞俳句大会表彰式

第9回臨時議会

11月6日、第9回臨時議会を開催。
物件売買契約について原案のとおり可決しました。

物件売買契約

- クロスカントリー競技ネット等備品購入
（バリアネット等ネット類 9,900m）
（ネットフェンスポスト 3,035本）
（安全マット 30枚）
（ローラーコンパクター 2セット）
- ・契約金額 12,739,440円
- ・利根沼田農業協同組合片品支店

【全員賛成】

○アルペン競技ネット及びボール購入

- （F I S安全Bネット 2,520m）
- （フラッシュバリアネット 2,310m）
- （スーパーGポスト（2.5m） 1,350本）
- （スーパーGポスト（1.8m） 620本）
- （スラロームコンバットポール 280本）
- ・契約金額 12,063,240円
- ・利根沼田農業協同組合片品支店

【全員賛成】



小学校運動会(9月7日)



名水サミットin七尾(8月30日)



南相馬市との防災協定調印式(8月28日)



檜枝岐村議員との交流会(9月24日)



片品中学校体育祭(9月13日)



管内視察(9月11日)



片品村敬老会(10月2日)



国体片品村実行委員会設立総会(9月30日)



片品保育所(9月28日)



群馬県町村議員研修会(10月24日)



消防団秋季点検(10月12日)



第55回村民運動会(10月5日)

12月議会を傍聴しませんか! 次回定例会は、12月6日(金)です。一般質問は、開会初日です。なお、一般質問の質疑応答の全文は、片品村公式ホームページにて閲覧することができます。写真はフルカラーです。 URL : <http://www.vill.katashina.gunma.jp/>

編集後記

議会だよりの作成は、編集委員7人で行っています。今号も、慌ただしい環境下での作業でしたが、無事に発行に至りました。

ふだん慣れ使っているとはいえ、村民に分かりにくい表記表現は避けるようにしていますが、お気づきの点などがありましたら、ご一報頂けるとありがたいです。

11月下旬には、議会だよりの編集ノウハウを勉強する研修会が市町村会館であり、原稿作成・編集・校正などを学びます。その場では優秀な議会だよりなどが紹介されています。

片品村議会だよりがどのような客観的評価を頂けるものなのか、不安でもありますが、日々努力を重ねたいものです。

議会広報編集特別委員会

委員長 戸丸 廣安

発行 片品村議会 責任者 飯塚 美明 編集 議会広報編集特別委員会

印刷所 笠原印刷(有)